

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月24日(火)

事務事業		車両管理事業				担当課	公共施設改革推進室	担当係	管財係	管理番号	7221
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	道路交通法、深谷市自動車管理規程			
	小項目	4	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		・共用車、特殊車両及び緊急用車両の管理を行い、日常点検及び定期点検、また車両修繕等を行うことで事故防止を目指すものである。									
目的 ※何のために		市民及び職員の安全確保のため									
対象 ※誰・何を対象に		共用車 24台、特殊車両 1台、緊急用車両 4台									
手段 ※どのように		・車両の定期点検等 ・安全運転管理者にかかる事務									
成果 ※何を求めるか		適切な車両管理業務を行う。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)		
本事業の 主な業務		・共用車両、特殊車両、緊急用車両の維持管理					・				
		・安全運転管理者に関する事務の対応					・				
		・共用車両、特殊車両の貸出管理					・				
		・					・				
		・					・				
		・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		アルコールチェックの運用					
事業費	予算(現額)	4,953,000	5,232,000	0	21,019,000		
	決算額	3,216,875	3,726,859	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	100,000		
		一般財源	3,216,875	3,726,859	0	20,919,000	
人件費	従事職員数(人)	1.40	1.33	0.00	0.55		
	人件費相当試算※	11,017,380	10,653,520	0	4,690,301		
総事業費試算		14,234,255	14,380,379	0	25,709,301		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	正・副安全運転管理者研修会への参加	目標値	人	6.00	6.00	6.00				
		実績値	6.00	6.00	6.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		正・副安全運転管理者全員の受講を目標値としている。 / 研修会参加者数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	業務に支障をきたしたトラブルの件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値	1.00	0.00	0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は0件としている。 / トラブルの発生した実績							
	実績値の算出式									
成果指標 2	共用車稼働率	目標値	%							
		実績値	55.80	62.80	91.10					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		共用車の利用は、各課の業務状況に応じて変動するため、目標設定は行わない。 / 公開羅針盤内の予約日数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	共用車台数 公共施設改革推進室管理の共用の台数	目標値	台							
		実績値	31.00	31.00	29.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		共用車台数は、庁内の車両の利用状況に基づき配車されるため、目標設定は行わない。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	正・副安全運転管理者研修会へ対象者6人全員が参加した。また、トラブル等の発生もなく適正な管理が出来た。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	共用車の稼働率は91.1%と前年度と比較して上昇したが、適正な修繕等により効率的な運用が出来た。また、共用車の台数は前年度から2台減少し29台(特殊車両・緊急車両含む)であった。
			評価者 管財係長 秋山 康晴

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	共用車の管理については、不具合箇所を事前に確認及び発見し、小規模なうちに修繕を行うことで重大な事故やトラブルを未然に防ぐことを目標としている。このため、法律などに基づいた点検や検査のほか、日常的に運行前点検を行うことで、高額な修繕を行うことなく適正な管理が図れた。
			評価者 管財係長 秋山 康晴